

# 新体制となった松山・平澤友好協会

## 定期総会の報告

開催日:6月12日(日) 場所:コムズ会議室

会員約30人の出席のもと、定期総会を開催し、平成27年度の事業報告・収支決算報告、並びに平成28年度の事業計画・収支予算が承認されました。

また、役員が改選が行われ、新しい体制となりました。中嶋慎治新会長(設立時から副会長に就任)をはじめとして、8名の新役員が選任されるとともに、他の理事については再任されました。

さらに、昨年、「平澤港マラソン大会」に参加した感想を、ランナー代表の新居田雅昭さんと、運営部会から写真を使って発表しました。

総会終了後は、出席者へ韓国のお菓子と、とうもろこし茶が配られ、韓国の味覚を楽しみました。



### ■中嶋慎治新会長 就任あいさつ

当協会が松山市と韓国・平澤市との友好都市提携に伴って設立されてから10年という節目を越えるまでになりました。これまでも様々な市民交流を積み重ね、日韓の友好親善促進に大きな役割を果たしてきました。とはいえ、今こそ草の根の市民交流が日韓の間において重要な時はありません。昨年9月には韓国との定期航空路線の運休がありましたし、昨年末以来の韓国国内の政治的混乱からくる日韓関係の悪化など前途多難な状況が生まれつつあります。しかし、そうした状況であるからこそ、草の根の市民交流を目的とする当協会の存在意義が問われることになります。

今後とも各種事業を通して松山市と平澤市の友好の絆を深め、日韓親善に努めていきたいと存じますので、皆様のご参加とご協力をお願い申し上げます。



### ■松山・平澤友好協会 役員

★…定期総会以降に新役員として就任  
敬称略 平成29年2月現在

職名	氏名	所属等
会長	★中嶋慎治	松山大学 経済学部 教授
	★佐伯要	松山商工会議所 会頭
副会長	★土居英雄	松山市文化協会 会長
	★小泉勇治郎	元松山東雲中学・高等学校 校長、元松山東雲女子大学 教授
	塩出卓一	公益財団法人 松山市体育協会 会長
教育 国際 文化 スポーツ等 交流団体	高岡亮	公益財団法人 愛媛県国際交流協会 専務理事
	松友崇浩	松山市小中学校PTA連合会
	金城正信	特定非営利活動法人エコステーションまつやま 理事長
	★谷本賢治	松山東雲中学・高等学校 校長
	★安川正貴	愛媛大学国際連携推進機構 機構長
理 事	篠崎和夫	愛媛地球市民の会 参与
	川中真治	愛媛信用金庫 理事
	新山富左衛門	道後温泉旅館協同組合 理事長
	★鈴木隆之	日本貿易振興機構(ジェトロ) 愛媛貿易情報センター 所長
	矢野洋志	奥道後交通株式会社 会長
運 輸	★矢野大二	公益財団法人 松山観光コンベンション協会 専務理事
	逸見雅一	伊予鉄道株式会社 常務取締役
	泉谷八千代	NHK松山放送局 局長
	★加藤令史	株式会社愛媛新聞社 常務取締役
	★秋川啓人	南海放送株式会社 専務取締役
監 事	★飯尾隆哉	株式会社伊予銀行 常務取締役
	★河野雅人	株式会社愛媛銀行 専務取締役
事務局長	★渡部 さつき	

### ■会長の交代に伴う新旧会長の市長表敬

開催日:7月15日(金) 場所:松山市役所応接室

鮎川恭三前会長と中嶋慎治新会長が、会長交代のあいさつのため、松山市の野志市長を表敬訪問し、歓談を行いました。

野志市長から鮎川前会長に、心からのねぎらいと御礼の言葉があり、鮎川前会長は、「初めて平澤市を訪問した際に、『東京に対する横浜』のような、大きな都市になるという印象を受けた」と話しました。また、中嶋新会長は、これまでの韓国に関する経験談を交えながら、新会長としての抱負を語りました。

「新成長経済新都市」として発展を続ける平澤市との今後の交流について、話に花が咲きました。



# 活動報告

## ハングル講座

### ●前期ハングル講座

開催日:6月26日(日)、7月10日(日)、24日(日)  
受講者数:27名

平成28年度のハングル講座は、張英淑(チャン・ヨンスク)先生を講師に迎え、前期3回(6月~7月)、後期3回(11月~12月)開催されました。

前期講座では、まずは全員に答えてもらうクイズから始まり、前半は、人気のドラマのセリフから多彩な会話表現を学びました。教科書には出てこないような言い回しが多く、実に皆さん興味深そうでした。

後半は、韓国からの留学生を先生として、レベル別に分かれて、日常会話、フリートーク、初心者の方にはカナダラ表(あいうえお表の韓国語版)のグループ学習をしました。

後期講座では、前半は、現代絵本を教材にして先生と一緒に勉強し、後半は、グループに分かれてロールプレイをしました。ここは松山じゃなくソウルの地下鉄だと思って、受講者ははりきって楽しんでいました。3回目には、グループに分かれてことば遊びのゲームもあり、大変盛り上がりしました。

受講者からは「実際に使われている韓国語を勉強できて、とても面白かった」と感想を話してくれました。

(運営部TE)



# 活動報告

## 交流会マダン

今年度のマダンは、後期ハングル講座の最終日に開催しました。講師を担当した留学生たちに、来日してから気がついた韓国と日本の違いについて話していただきました。それに対して、参加者からの素朴な質問もたくさんありましたので、興味深い話をいくつか紹介します。

最初は何と言っても、日本にはない軍隊についてです。経験者の男子学生が話してくれました。

- 韓国の男子たちは、軍隊に行くのが義務です。入隊前には身体検査を受けます。陸軍(21ヶ月)、海軍(23ヶ月)、空軍(24ヶ月)、海兵隊(21ヶ月)、義務警察の5カ所に分かれて服務します。徹底的な階級制です。給料が出ますが、もちろん階級ごとに違ってきます。日課は、6時起床→7時起床→8時朝食→9時日課→11時半昼食→13時日課→17時日課終了 その後は自由時間です。一番厳しかったのは、冬に2~3日間行われる野外での訓練だったそうです。除隊後も、満30歳までは、年に一度は予備軍の訓練に行かなければならないそうです。

次は、日常生活の中で気づいたことです。

- 韓国には、煙草の自動販売機はありません。
- 韓国は、雰囲気盛り上がるたびに乾杯します。目上の人の前では、横を向いてお酒を飲みます。韓国には、「飲み放題」はありません。
- コンビニに、本や雑誌は売っていません。また、コンビニの中にトイレはありません。
- 家庭のお風呂に浴槽がない所が多いです。

- 韓国の結婚式は、宗教によって形が変わることはありません。式場に来客の指定席はなく、日本より祝儀の金額は少ないです。また、引き出物ももらう習慣はありません。
- 高校生たちは、学校で夜食を食べ、10時くらいまで自習をします。
- 韓国ドラマは、週2回で一話の時間が日本より長く、途中コマーシャルは入りません。映画は、一本800円くらいで安く、上映時間は2時間弱のものが多いです。
- 親子間、友達同士のスキンシップが日本より自然で、愛情表現が豊かです。
- 引越祝い、大体トイレットペーパーをあげます。また引越し当日は、出前でジャージャー麺を食べます。出前は、どんな場所へでも可能です。
- 韓国は、飲酒運転をした場合、3回目までは罰金と罰点を与えて、4回目から免許が取り消しになります。等々、まだまだあるようです。皆さんも韓国へ行ったり、韓国人と交流することで、「違い」と「同じ」を見つけてみませんか? (運営部HT)



### 参加した皆さんからの感想

- ・すごく楽しかったです。お話あり、グループトークあり、ゲームあり、韓国の遊びや文化、留学生との交流など、とても充実した盛りだくさんの3時間であつという間に終わりました。例年の3週連続でなく、一週おきて出席しやすかったです。
- ・童話に触れることができて良かった。会話の場面を多く作っていただき、話す機会があつて良かったです。先生は気さくで、どんな質問にも答えていただき、とても良かったです。留学生の皆さんにも大変お世話になりました。
- ・前期・後期ともに楽しく受講させていただきました。レベル分けをして、チャン先生や留学生の皆さんに丁寧に教えていただいたことがありがたかったです。韓国の文化や生活に興味があるので、特に後期のマダンは面白かったです。
- ・韓国語を身近に感じながら、文化の違い等を改めて知り、興味深かったです。小さな事でもその違いに昔からの生活の意味があり、「そうなんだあ〜」と思ったりしました。みんなで楽しむ時間も、楽しかったです。
- ・不足が多かつたけれど、みなさん親切に情熱的に授業に参加してくださって、とても楽しい時間でした。私はまた、日本について沢山分かる機会となつて、意味ある学びがある時間でした。韓国語の勉強に対して情熱を失うことない皆さんに多くを学びました。(留学生)
- ・1回目の授業より2回目の授業が童話の本とか実生活で使える言葉を習える機会ができて良かったです。来年は韓国へ帰って参加できませんが、来年はもっと良いサポーターがいると思います。韓国語の講座だったけれど、私も日本語について勉強する機会ができて良かったです。沢山の日本の良い方たちと会う機会ができて私も良かったです。来年はもっと沢山の人の参加があればいいです。(留学生)

## 中学生との交流会

平澤市中学生受入事業で、今年も当協会の運営部が協力しました。

8月6日、平澤市中学生10名・松山市中学生9名が、日本料理体験を行いました。献立は、学生たちが好みそうなメニューを考え、手巻き寿司・素麺・かき氷です。素麺は松山名産の五色素麺を使いました。運営部員・学生たちは5班に分かれ、調理・盛付・片付けまで一緒にを行います。



卵焼きも学生たちは、家では作ったことがないようでしたが、部員が教えると楽しそうに作り、思わぬ出来栄に喜んでいました。全員で食事が始まり、特に五色素麺・かき氷は気に入ったようです。素麺はおみやげに買って帰りたいという学生もいました。かき氷は行列ができて、何回もおかわりしていました。

学生の中で、日本語をとてもし上手に話す子がいたので「もしかして日本人?」と聞くと、「韓国人です」と言うのでビックリしました。日本語を習っているということでした。松山の男子学生から『美味しいは韓国語でどう言いますか?』と質問があり、『マシッタ』。丁寧に言うと『マシッソヨ』と『ヨ』をつけるのよと教えると、『今回はマシッタ』と言っていたので、これからは『マシッソヨ』と言わないといけなと、言っていました。素直な学生でした。

献立・買出し・調理手順の確認等、準備は大変でしたが、終わってみると孫のような学生たちと楽しく交流できて、良い思い出になりました。(運営部WS)